



プリンセス・クルーズ

世界的なクルーズ会社として過去最大規模で日本市場に参入

2013年4月～7月、「サン・プリンセス」日本発着クルーズに1万8,000名以上の乗船を期待

カーニバル・ジャパンの設立は、成長する日本市場に寄せる深い関与の現れ

東京（2012年3月27日付） - 日本のクルーズに対する興味の高まりに呼応する為、カーニバル・コーポレーションplcは世界的なクルーズ会社による過去最大規模の配船計画を日本市場に導入することを決定し、春から夏のクルーズ・シーズンに向けて「サン・プリンセス」を2013年4月から日本に投入する。

世界の主要クルーズ・ブランドのひとつ、プリンセス・クルーズは合計88日間のプログラムを立ち上げ、来年の4月～7月の間、横浜および神戸発の7コース、9航海を実施。これらのクルーズは10～13日間のクルーズとなる予定。

クルーズの日程は日本人マーケット向けにカスタマイズされたユニークなものとなっており、ゴールデンウィークにあたる2013年4月27日に就航開始、どんたく祭の日程に合わせて博多に1泊する10日間クルーズを運航する。

拡大する世界のクルーズ・マーケットにおける日本の重要性を考慮し、日本でプリンセス・クルーズおよび他のカーニバル傘下のクルーズを販売する為、カーニバル・ジャパンを設立する運びとなった。日本マーケットで過去最大のクルーズ・シーズンを開始するのがプリンセス・クルーズとなる。カーニバル・ジャパンは、世界的クルーズ会社であり世界最大の旅行関連企業のひとつであるカーニバル・コーポレーションplcの子会社。カーニバル・ジャパンは東京に拠点を置き、代表取締役にも木島榮子が就任。

「弊社の新たな日本への配船計画は、競合他社の国際クルーズ・プログラムの3倍の規模を誇り、日本市場向けに特別にプランニングされた優れたクルーズ日程となっている。そしてこれは世界的なクルーズ会社が、4月～7月のクルーズ・シーズンに向けて、日本のお客様のために特別に計画した最初のクルーズとなる。そのユニークなクルーズスケジュールや船上体験は高い人気を博し、増えつつある日本人旅行者にクルーズ旅行を紹介する絶好の機会となるだろう」とプリンセス・クルーズの社長兼CEO、アラン・バクルーは語った。

日本における初シーズンのクルーズでは、約1万8,000名の乗客を期待

日程のハイライトには、人気のお祭りが催される都市での宿泊、温泉で有名な場所、東北や北海道、韓国や台湾などの海外の港などが含まれている。



2013年日本を母港とした日程は下記の通り

- 洋上のゴールデンウィーク日本・韓国 9泊10日間
2013年4月27日発（横浜発着）
横浜 → 広島 → 長崎 → 釜山 → 博多 → 横浜
- 新緑の古都と釜山 12泊13日間
2013年5月6日発（横浜発着）
横浜 → 青森 → 釜山 → 金沢 → 境港 → 舞鶴 → 名古屋 → 横浜
- 韓国・世界遺産の地と台湾・2大都市 9泊10日間
2013年5月18日発（横浜発着）：横浜 → 釜山 → 濟州島 → 高雄 → 台北 → 横浜
2013年6月23日発（横浜発/神戸着 ※神戸発着も可能）：横浜 → 神戸 → 釜山 → 台北 → 高雄 → 神戸
- 日本の温泉地めぐりと釜山 9泊10日間
2013年5月27日発（横浜発着）
横浜 → 名古屋 → 神戸 → 瀬戸内海（クルージング） → 松山 → 釜山 → 鹿児島 → 別府 → 横浜
- 龍馬ゆかりの地と韓国・世界遺産 9泊10日間
2013年6月5日発（横浜発着）
横浜 → 高知 → 鹿児島 → 長崎 → 濟州島 → 釜山 → 広島 → 横浜
- 北海道周遊とサハリン 9泊10日間
2013年6月14日発、2013年7月14日発（横浜発着）
横浜 → 釧路 → 知床半島（クルージング） → コルサコフ → 小樽 → 函館 → 青森 → 横浜
- 日本周遊と釜山 12泊13日間
2013年7月2日発（神戸発/横浜着）
神戸 → 瀬戸内海（クルージング） → 広島 → 釜山 → 境港 → 舞鶴 → 金沢 → 青森 → 室蘭 → 横浜

クルーズ料金は、9泊10日間クルーズ、2名1室のお1人様料金 ¥124,000~

世界中で運航されているプリンセス・クルーズの船上サービスを、日本発着クルーズでそのまま体験することができる。プールサイドの屋外巨大スクリーン「ムービーズ・アンダー・ザ・スターズ」や、大人の為のリラクゼーション・スペース「サンクチュアリ」などプリンセスならではの施設をはじめ、美味しい食事とエンターテインメントの数々、洋上でゆったりとした寛ぎの時間が楽しめる。

さらに、日本発着クルーズ限定のサービスも充実。お客様に直に接する主要ポジションには日本語スタッフを配置する予定。食事はプリンセス本来のインターナショナル料理に加え、日本人の好みに合わせた料理も提供し、アラカルトのスシバーもオープン。ショッピングの品揃えやスパ・トリートメントなどの船上の施設も日本人の好みに合わせたものを用意。ポケット・ガイドブックなどの船内情報、客室案内は日本語に翻訳する。



また、寄港地に合わせて多種類の寄港地観光が用意されており、サン・プリンセスの乗客は寄港地で様々な体験ができる。

サン・プリンセスは、7万7,000トン、乗客定員2,022名、約70%の客室がバルコニー付き。ロータス・スパ、ステーキハウス、パティスリー、ピッツェリア、ブティック、インターネット・カフェ、その他の施設も充実している。

この新しい日本発着クルーズは、2012年4月16日に販売開始予定。さらに、日本市場で販売される2013年4月以降に出発する全てのプリンセス・クルーズの商品も日本円で販売予定。

この新プログラムと関連して、プリンセス・クルーズは、旅行会社向け予約システムPOLAR Online（ポーラー・オンライン）の日本語版を立ち上げる。このシステムにより、日本の旅行会社にとってクルーズの予約が簡単かつ便利になる。24時間、毎日利用可能なこの予約システムは、プリンセス・クルーズの全てのクルーズを予約するのに最良の手段であり、使い易さ、情報量の多さ、実用性などを兼ね備えた旅行会社向け予約ポータルサイトである。

プリンセス・クルーズについて

クルーズ業界で最も知られたブランドのひとつであるプリンセス・クルーズは、世界的なクルーズ会社および旅行関連企業であり、革新的なデザインや、多様な食事の選択、エンターテイメント、アメニティーなどのバラエティーに富んだサービス、優れたカスタマー・サービスを提供する16隻の最新鋭客船を運航。世界的なクルーズ会社のリーダーであるプリンセス・クルーズは7泊～107泊のクルーズを運航し、全世界のデスティネーションに年間130万人ものお客様を案内している。プリンセス・クルーズはカーニバル・コーポレーション& plc (NYSE/LSE:CCL,NYSE:CUK)傘下の会社。

詳細に関する問い合わせは

株式会社カーニバル・ジャパン Tel : 03-3573-3610 <http://www.princesscruises.jp>

写真をご希望の方は以下からダウンロード可能

<http://www.flickr.com/photos/princesscruises/sets/72157629277894516/>